

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	女性を対象としたビジネスソフトならびに初級デザインに関するICTスキル習得講座		
法人名	学校法人北海道情報学園		
学校名	札幌テクノパーク専門学校		
代表者	理事長 河村 有泰	担当者 連絡先	山本恵造 TEL:011(807)6400

1. 事業の概要

今回の事業は、ビジネスソフトの実践的使用方法を習得する事に重点を置く事とし、初級デザインに関する内容は割愛した。中小企業での利用率が高い「弥生シリーズ」の主要3種「給与」「会計」「販売」の使用方法を習得するセミナーとし、セミナー講師には北海道に数名しかいない「弥生認定マスターインストラクター」の資格をもつ女性講師をお招きして平成20年2月1日から同年2月15日までの間で10日間実施した。実施時間は10:00～16:00とし12:00～13:00は昼休みとした。

諸事情により平成20年に入ってから受講者の募集を行う事となり、募集期間は実質2週間と講座開始まで期間が短かったにもかかわらず、96名(10代:1名、20代:9名、30代:28名、40代:36名、50代:20名、60代:1名、不明、1名)の申込があった。募集にあたっては、ハローワークや札幌男女共同参画センターなど公共施設へ配布協力をお願いしたほか、民間の派遣会社や就職支援施設などへも協力をお願いした。その他、新聞社へ掲載を依頼したところ、北海道新聞に掲載して頂く事が出来た。申込者の中から抽選でまず40名を選出し連絡。参加辞退や返信のない方を削除した後に新たに抽選を行い最終的に40名(20代:6名、30代:18名、40代:10名、50代:6名)が確定した。

今回の募集においては受講者資格を特に設定しなかったために、受講者間のセミナー内容に関する知識の差が出てしまい、初心者の方の負荷が大きくなり、講座の進行について来れない方も出てしまった点は改善すべき事としてあげられる。しかしながら、こういった初心者の方や講座に出れなかった方々のために、専用ホームページ上でSNSの双方向性を十分に利用して用語解説コーナーや質問コーナーを設置したことは受講者から好評価を得ることが出来た。動画コンテンツに至ってはセミナーと同一の内容となっているため、専用ホームページが自分のペースで繰り返し学習できるeラーニングシステムとして構成する事が出来た点などからも、スキルアップに意欲的ながら子育て中で外出できない方などが、自宅にいながらにしてインターネットを使って学習できる環境の提供という点で、事業計画当初の想定以上の可能性を見出す事が出来たと考えられる。

また、精神的にも孤独になりがちな休職者同士が情報交換をしたり激励し合うコミュニケーションツールとして、匿名性を保持できるSNSは非常に有効活用できることが、今回の受講者の現在の日記やメッセージ、コメントなどの利用状況から見て取る事ができた。専用ホームページは平成20年9月末日を期日に閉鎖する予定だが、受講者からの存続の要望も多く寄せられるので、利用状況がこのまま推移するのであれば、閉鎖期日の延長も検討したい。

なお、事業終了が3月前半となったため、受講者の就職状況は専用ホームページで継続的にリサーチする。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

人数に対して就業希望者が多く常に倍率の高い「事務系」の再就職には、企業が求めるスキルを身に付けている事が必須となる。しかしながら、求職者が企業ニーズをよく理解していないケースが多く、漠然と事務系の面接を受けている実態も否定できない。今回の講習は、ワードやエクセルといった事務系ツールのスキル習得ではなく、総務・会計ならびに販売管理といった中小企業において経済的利益をもたらすツールとして使われる総務・会計ソフトの実践的な使用方法を重点的に習得する事を目的とし、加えて企業ニーズに対しての自分のスキル判断や求職に対する意識を高める講座内容とした。

総務・会計ソフトの習得は繰り返しの学習が必要なため、受講終了後も各自が自宅で学習できる環境を専用ホームページで提供している。受講者のほぼ全員が弥生シリーズに初めて触れる方々だったにもかかわらず、受講者の多くが受講終了後もテキストと連動した専用ホームページで学習しており、就職へ向けたスキルアップというこの講座の目的は概ね達成できたものと考えられる。しかしながら、受講者にとってスキルアップは手段であり、本来の目的である就職に結び付けてはじめて受講者の目的を達成した事になるので、就職まで可能な限りの支援を怠らない様にしたい。

②事業により得られた成果

初心者からでも総務・会計ソフトの利用方法を通して簿記や総務実務を認識・習得する事が可能という結果は当然として、就労やスキルアップに対する意欲はあるものの、子育てなど様々な要因でスキルアップ講習などに参加できずにいる人々に対してはeラーニングを用いた学習機会の提供も必要との考え方も、本事業を実施する中から得られた成果と言える。また、女性求職者は「孤独な求職活動」の中で少なからず孤立感を抱いている事や、情報が片寄りがちで企業側の求める人材の情報の入手経路が不足している点なども、女性の再チャレンジを支援する場合何らかの対策が必要と考えられる。

その他、今回の受講者専用ホームページをSNSとした事で様々な可能性を見出す事が出来た点も大きな成果である。

③今後の活用

スキルアップ講座の実施はもちろん、様々な情報や自己学習が可能な環境、コミュニケーションツールなどの提供は再チャレンジに関する様々な角度からの支援として位置付け活用すべきものと考えられる。それらの総合情報ツールとしてSNSやmoodle、動画コンテンツなどを組み合わせたeラーニングの環境を構築する事で、受講者が自宅にいながら自分のスケジュールに合わせてスキルアップ講座を受講する事ができる。これらのeラーニングは単に自己学習をする仕組みを提供するだけではなく、受講生1人ひとりの進捗状況や習得度合いに合わせて指導する手法を活用することでさらなる支援の成果が期待できるものと考えられる。

④次年度以降における課題・展開

次年度のスキルアップセミナーは、専用ホームページを使ったeラーニングと会場講習を組み合わせた内容で実施する事が望ましいと考えている。受講者数も会場の大きさに左右されず、会場を使ったスクリーニング実施時は日時調整をする事が可能で、しかも、受講者は自分の理解度に合わせてスピードで受講スピードを調整し、理解するまで何度でも繰り返し学習する事ができるものにしたい。また、単なるスキルアップセミナーの実施だけではなく、再チャレンジに関する情報の提供や孤立しがちな求職者同士のコミュニケーションの場などを提供する事も、再チャレンジを目指す女性への大切な支援ととらえて展開する事が必要だと考えている。セミナー内容もアンケートなどを参考とし、デザインスキルコースの実施も検討したい。

3. 事業の実施に関する項目

講座名称:「総務・会計ソフト習得実践講座」

実施期間:平成20年2月1日(金)～2月15日(金)の間の平日10日間

実施時間:10:00～16:00(昼休み*12:00～13:00)

申込者数:96名(10代:1名、20代:9名、30代:28名、40代:36名、50代:20名、60代:1名、不明、1名)

受講者数:40名(20代:6名、30代:18名、40代:10名、50代:6名)

実施会場:札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9階

講座内容:弥生シリーズ(3種)習得8日間、就職活動指導・講演1日、パソコン操作・IT技術指導1日

その他:

- ・受講者のスキルアップサポート専用ホームページをSNSタイプで設置。(http://sta-seminar.com)
- ・上記SNSで講座の用語解説や質問ページなどを設置。SNSは携帯端末からも利用可能。
- ・初日のスキルチェックの内容を参考に、受講内容に応じおおよそ2日ごとに座席順を変更。
- ・全パソコンをネットに接続し、専用SNSの利用や用語検索をできる環境を提供。
- ・テキストに沿った講座と同一内容の動画コンテンツ(弥生シリーズ)が専用SNS内で閲覧可能。
- ・運営スタッフは受講会場を柔らかい雰囲気でご包み込むよう徹底した。
- ・アンケート結果では、会場の狭さと講師の講義進行に多少の不満はあったものの、概ね満足との結果(別
- ・グラフィックデザイン及びwebデザインのスキルアップ講座に対する要望が多かった。
- ・受講者の就業状況は、専用SNSを通じて継続的にリサーチする。

※専用サイト仮ログインアドレス:test@sta-seminar.com、パスワード:seminar